

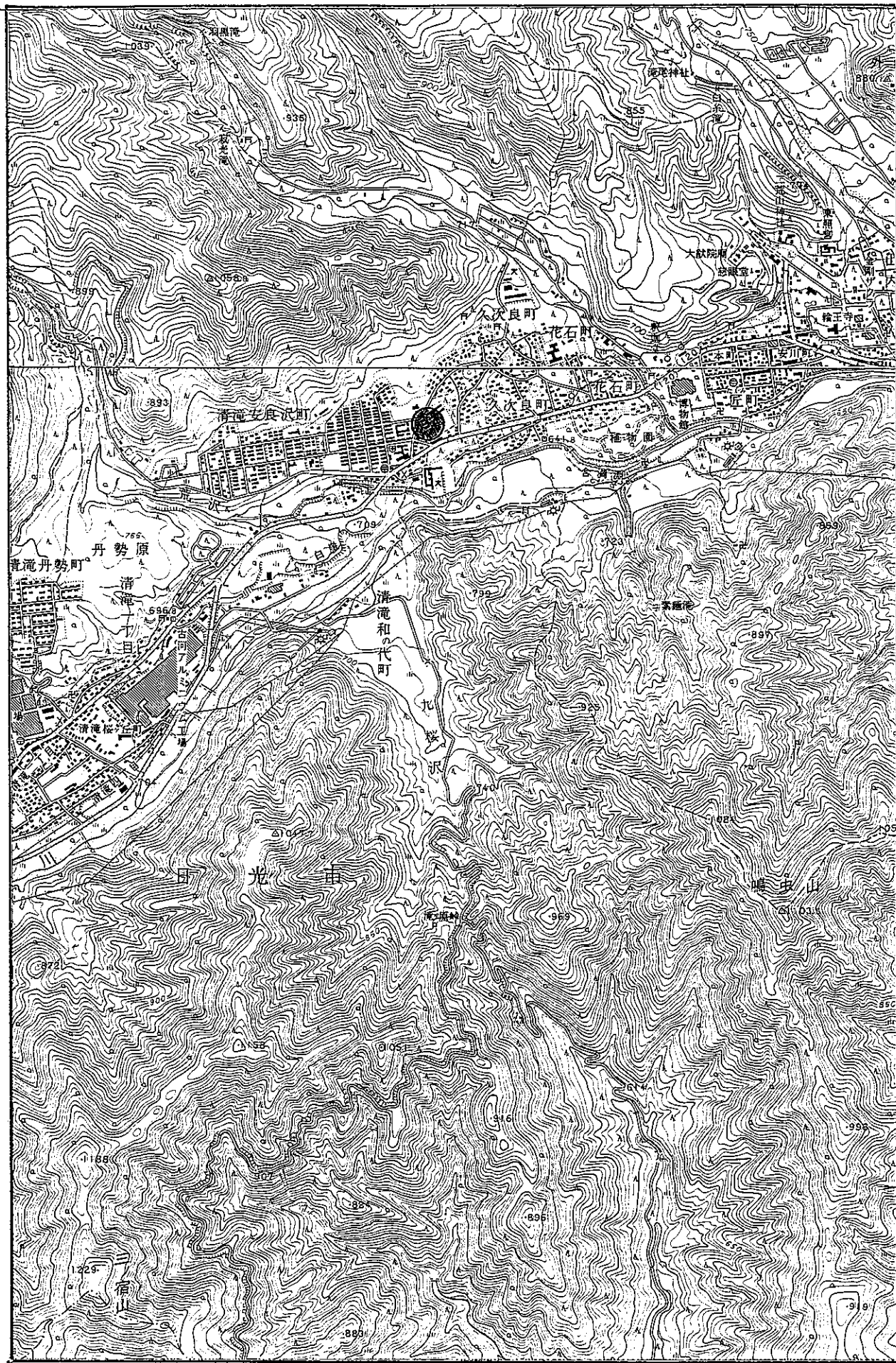
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

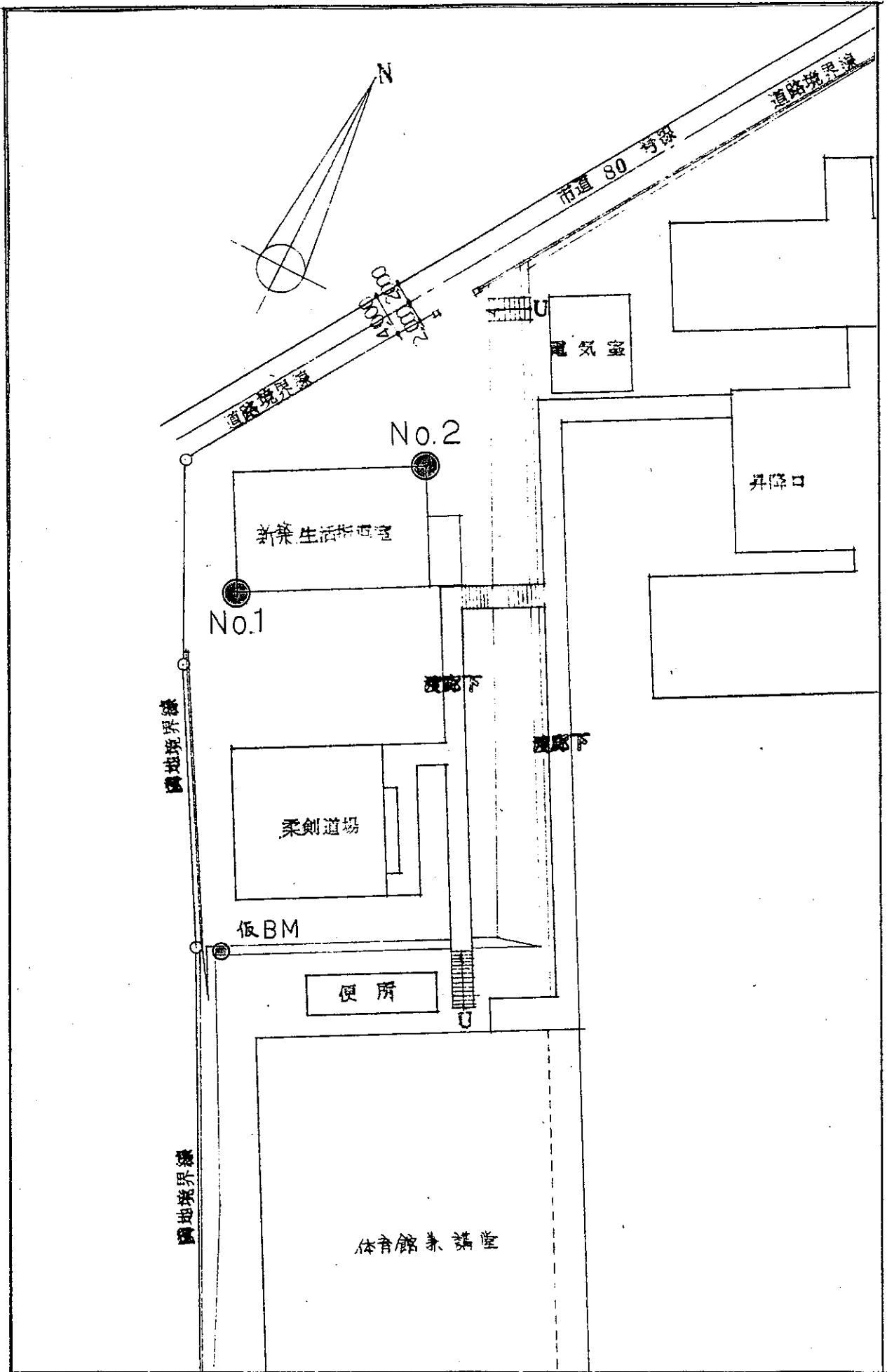
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



1 : 25,000

案内図



S = 1 : 500

位置図

ボーリング番号		備考														
調査名		標準貫入試験														
調査場所		U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取														
調査年月日		昭和59年6月8日 ~ 昭和59年6月11日														
調査高さ		基準 仮B.M.(100.00m)														
ボーリング工法		現場技師者														
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色	記	相対密度および コンシステンシ	標準貫入試験			尺 (m)		
											貫入深度 (m)	N	10cm毎の 打撃回数			
0																
1				2.25			盛土	黒	ロ-ム、軽石を主体とする 全体に火山礫を少量混じえる	やや細かい	1.15	4	1	1	2	
2	96.75	2.25		0.55			有機質土	黒	ロ-ムの地表風化土	非常に やや細かい	2.15	1	1			
3	96.20	2.80		0.85			ロ-ム	褐	軽石スコリアを不規則に 混入する	中位の	3.75	60	80			
4	95.35	3.65					軽石	黄白	ρ1~10%の砂粒状を 含水多量、やや細かい	やや細かい	4.15	2	1	1		
5				2.25			暗赤褐		ρ3%程度の火山礫を 混入する	中位の	5.15	35	17	18		
6	93.10	5.90					砂質ロ-ム	暗褐	全体に砂質のロ-ムを 火山礫・スコリアを不 規則に混入する	中位の かた	6.15	5	1	2	2	
7				2.85							7.15	9	2	3	4	
8											8.15	13	4	4	5	
9	90.25	8.75									9.15	45	6	10	10	
10											10.15	26	6	10	10	
11											11.15	34	7	9	10	
12											12.15	45	3	2	9	
13											13.00	50	24	26		
14											14.00	17	7			
15											15.00	50	50			
16											16.00	0	0			
17											17.15	0	0			
18											18.00	50	50			
19											19.00	50	50			
20	79.00	20.00									20.00	0	0			

No. 1 孔

ボーリング番号		62		備考										
調査名		日光高校生活指導室新築工事に伴う地質調査												
調査場所		日光市久次良地先												
調査年月日		昭和59年6月11日 ~ 昭和59年6月13日												
調査高さ		基準		仮B.M.(100.00m)										
ボーリング工法		ロータリー式												
標高(m)	深度(m)	孔内水位(m)	層厚(m)	試料採取位置(m)	土質記号	土質名	色調	記述	相対密度および	標準貫入試験			尺(m)	
										貫入深度(m)	N値	10cm毎の打撃回数		
97.11	1.90		1.90		X	盛土	黒褐	礫・碎石等も混入し、ローム軽石を主体とする	やや細かい	1.15	2	1	1	
95.26	3.75		1.85		~~~~~	有機質土	黒	ロームの地表風化土で有機質を土中に見出し、腐植物を混入する	非常に細かい	2.15	1	1	50	
94.16	4.85		1.10		~~~~~	ローム	褐	全体に軽石スクリヤを不規則に混入する	中位の	3.15	2	1	1	
91.36	7.65		2.80		△△△	軽石	黄白褐 }	上部 φ1~5mmの砂粒状である 下部 φ3~20mmの砂粒状で含水量多い	中位の }	4.15	5	2	2	
87.71	11.30		3.65		△△△ ○○○	砂質ローム	暗褐	φ1~10%の火山砕粒及びスクリヤを不規則に混入する 10mm附近砂分が多い	中位の }	5.15	5	2	1	
			8.70		△△△ ○○○	火山砕粒 (玉石混り)	暗灰	L <sub>max</sub> 200mm程度の粗粒多孔隙の安山岩質火山砕粒と同質の火山砂よりなる火山砕屑物である	中位の }	6.15	2	1	1	
					△△△ ○○○				非常に粗い	7.15	3	1	1	
					△△△ ○○○					8.15	7	3	2	
					△△△ ○○○					9.15	14	3	3	
					△△△ ○○○					10.15	11	4	3	
					△△△ ○○○					11.15	50	14	36	
					△△△ ○○○					12.15	17	7	7	
					△△△ ○○○					13.15	28	9	9	
					△△△ ○○○					14.00	50	3	19	
					△△△ ○○○					15.00	73	3	3	
					△△△ ○○○					16.00	50	50	50	
					△△△ ○○○					17.00	2	2	2	
					△△△ ○○○					18.00	50	50	50	
					△△△ ○○○					19.00	3	3	3	
					△△△ ○○○					20.00	50	50	50	
					△△△ ○○○					20.00	0	0	0	

No. 2 孔